

ザ・パークハウス あざみ野一丁目

The Parkhouse Azaminoityoume

No. 21-021-2019作成
新築
集合住宅

発注者	三菱地所レジデンス株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社フジター級建築士事務所 Fujita Corporation	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社フジタ横浜支店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

森のリゾートに住む、環境に配慮した集合住宅

■原風景への再生

敷地周辺は田園都市線手前までの丘陵地で古地図によれば雑木林であった。この雑木林は江戸時代に人工的につくられ、燃料の薪や落葉による堆肥を生み出していた。この場所の原風景である雑木林をデザインに取り入れることをテーマに近隣周辺地域との一体化を図った事業である。

■周辺環境と調和した計画(生態系ネットワークの創出)

植栽計画を行うにあたり、文献や周辺の自然環境や土地の成り立ちに関する調査を行い、本物件の最大の緑地を構成している樹木や草本の半分以上を在来種とし、地域に根ざした植生の創出を図った。

生き物のいる豊かな緑地の創出によって地域の生態系に貢献し、かつ住環境としての快適さを両立することを目指し、[鳥類]シジュウカラ、[蝶類]ヤマトシジミ、キチヨウ、クロアゲハ等の誘致を目標として現地調査を行い、結果に基づいて食草や食樹、吸蜜植物の配置など効果的な植栽配置を行った。動物の生育場所や移動経路に対する配置として花や実のなる植物を植え、敷地内のダンゴムシやミミズ等の地上性生物や土壌環境を良好に保つ地中の微生物等の生育環境に配慮し、その隠れ家や産卵場所になるよう落ち葉溜めを設置、管理用通路の一部を緑地を分断しないように飛び石にして、ミミズやオケラ等の土中小動物や昆虫が周囲の緑地と行き来ができるようにし、土壌を生かした計画とした。他に、生息場所を確保するための取り組みとして、低灌木を多く配置することで、その樹下に落葉をため込み、地中小動物の生息環境の安定を図った。低灌木や地被類を多用し裸地を少なくすることで、雑草の繁茂を軽減。管理者の植栽帯への立ち入りの機会を少なくし、土の踏み固めをなくすことで、地中小動物の生息環境の安定化を図っている。



エントランスアプローチ



計画図



周辺環境調査報告書

■環境への配慮

舗装面の一部に透水性舗装を採用し、水循環への配慮とした。開発時の発生材の有効活用として、発生した自然石を景石として緑地内に再利用し、既存樹木を移植し活用した。外来生物に対する対策として、「特定外来生物」や「要注意外来生物」に対するルールやマニュアルを整備して、居住者及び管理関係者に周知し、外来生物に侵入された場合に、地方公共団体や専門家と連携して防除を行う体制を作った。

■まちづくりプランの継承

あざみ野駅から、歩道の整備された駅からのアプローチ、青葉区の緑のネットワークに指定されている前面道路を経て、緑に囲まれた雑木林をイメージしたアプローチを接続し、まちづくりプランを継承した散策路を創出している。

■自然の中の別荘風景

アプローチより続く風除室・エントランスホールには天然木を使用し、ぬくもりを感じる「導きの壁」を配置し、その先の高天井の開放的なラウンジへと誘う。ラウンジにはランダムに浮遊する球体を配置し、リゾート感のある立体的な空間を演出し、様々なレベルで構成した楽しい再生木デッキへと抜けていく広く明るい空間を創出した。



まちづくりプランとの繋がり



外観



敷地内広場

敷地内散策路



導きの壁



ラウンジ



自然景石を利用したデッキ

設計担当者

統括・建築：神田信孝／構造：五十嵐修／設備：河野良典、村田峻平／
デザイン監修：野生司環境設計 野生司義光、伊東俊之、道村賢治、田澤清／
ランドスケープ：関東学院大学 准教授 中津秀之

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (外構緑化、地域の郷土種への配慮、野生小動物の生息地の確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (地域性のある植栽、歴史性の継承)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (散策路、緑地帯)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (高効率給湯器、LED照明)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (自然石の再利用、既存樹木の移植)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (地域環境を考慮した配置計画)

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価	
所在地	品確法省エネ対策	等級4	
竣工年	BEI	0.89	
敷地面積	LCCO2削減	80%	
延床面積			
構造			
階数			